

三井のリフォーム住生活研究所 西田 恭子

## 女性だけの集まり

大学の講師仲間から「全  
国住生活女性フォーラム」  
への誘いがあった。

当社は「女性のためのマ  
ンションリフォーム」セミ  
ナーなど、女性をターゲット  
にしたイベントがあり、  
行くことにした。衆議院議  
員の野田聖子さんの挨拶  
や、ジャーナリストの櫻井  
ようこさんの講演に興味が  
あったが、何より女性だけ  
の集まりとほどんなものな  
のだろうか？ と思った。

長引く住宅不動産不況か  
ら脱するための突破口とし  
て、女性の感性と力が発揮  
されることへの期待が大き  
くなっている。そこで住生  
活に関連する分野で働く女  
性たちが、組織の枠組みを  
越えて、学び、情報発信す  
る場として、(社)住協や(財)  
日管協が主催し、その他一  
二の協会の協賛を受けて行  
われた。

二部のパネルディスカッ  
ションでの進行役のコーデ  
ィネーターをはじめ、パネ  
ラーの大学教授、そして地  
元で活躍する仲介業、不動  
産経営、営業コンサルティ  
ング、インテリア会社の四  
人の社長も全て女性だ。  
参加者に男性はいるのだ



参加者へのお礼状

ろうか？ 三  
〇〇人入る会  
場は女性で埋  
め尽くされて  
いたが、二割  
弱は男性が混  
じっていた。  
主催者も思っ  
ていた以上の男性の来場者  
数に、驚いた様子だった。  
女性陣が何をしようとして  
いるのか？ 関心が高いの  
だろう。

建築の世界は男性中心だ  
と言われてきた。その中で  
女性の感性を発揮すること  
は、かえって評価につなが  
った時代に仕事をしてきた  
私たち世代は、回りが全員  
女性よりも男性が多い方が  
かえって落ち着くともいえ  
る。

だが、これだけ女性パワ  
ーが人数的にも定着した現  
在は、男性陣も女性を捨て  
てはおけないどころか、次  
の時代のうねりが来ている  
のだろう。

会の終了後、パネラーの  
方々とお話させていただ  
いた。みなさん今マスコミが  
取り上げる「女性力」を発  
揮しながら、女性特有のし  
なやかさとわかりやすい語  
り口調で、懐の深さと遊び

心のある方々であった。

これほど世の中にさまざ  
まな女性部会があるのにも  
驚いたが、懇親会での国土  
交通省住宅局の男性の方の  
挨拶が「女性は怖い」だっ  
た。住宅において女性が決  
定権者であることを、住宅  
建設の時の経験から話され  
ていたが、『女性パワーを  
活用すれば家は三倍売れ  
る』の本を出されたパネリ  
ストのやさしい笑顔にも、  
怖さを感じるのだろうか？

「これからは女性の時代  
だ」とまとめておられたが、  
確かに懇親会で繰り広げら  
れている女性パワーは相当  
なものであった。  
建築だけではなく、住生  
活に関わる方々の見識を知  
るいい企画だと感じるとと  
もに、女性だけでなく、男  
性だけでなく、「男性がい  
て女性がいる」それが自然  
だと単純に感じた一日であ  
った。

西田恭子氏のプロフィール「一級建築士。「三井のリフ  
ォーム」で設計を手かけ二五年。暮らしの創造に貢献す  
る「三井のリフォーム 住生活研究所」の所長に就任。  
新聞・雑誌・書籍の執筆、各種セミナーで講演を行う。文  
化女子大学非常勤講師。日本女子大学住居学科卒。